

門司港名所案内

* 「出光美術館」が4月21日に開館しました



「美術館は人の芸術作品であり、そこには日本人としての独創と美がなくてはならない。そして、優れた美術品の蒐集を常に心掛け、これをもって時の人の教学の資となし、後の世の人のために手厚く保存しこれを伝えることは、美術館の最も重要な使命である。」 出光佐三

出光興産の創業者出光佐三は、七十有余年にわたって蒐集し愛蔵した美術品を公開するため、昭和 39 (1964) 年福岡市内の事務所内に「出光ギャラリー」を開館しました。(当時、福岡には美術館と呼べるものは無かったそうです。)

そして、昭和 41 年に東京で本格的な美術館を開館。後に大阪にも開館して、以上の三箇所をもって、美術研究および保存・修復にもとづく展覧活動を積極的に進めてきたそうです。

そして今年、その活動の一角を、福岡から創業の地であるこの門司港に移し、「出光美術館(門司)」が開館しました。

この美術館は、レトロ地区内にある倉庫を改造して造られおり、館内は高い天井が特徴的です。GW を過ぎ、現在までの参観者数は、のべ約 9000 人程、週末は約 250 人程だということです。



現在は、開館記念として陶器の流通と意匠の変化に文化の交流の様を見る「陶磁の道展 - 日本・朝鮮・中国・中近東・ヨーロッパを結ぶセラミック・ロード -」という展示会が開催されております。

皆様、次の休日には、広大な海の路を往来し、西アジアやヨーロッパで盛んにコピーをされた陶磁器達を見に行きませんか？

出光美術館(門司)

- ・開館時間 午前 10 時～午後 5 時(入館は 4 時 30 分まで)
- ・休館日 毎週月曜日 年末年始 展示替期間休館
- ・入館料 一般(高校生以上) 500 円 小・中学生 300 円

<http://www.idemitsu.co.jp/museum/>

